



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

伐採木利活用であずまやを現地で製作 ～ とち木`の会協力・真岡工業高校実習教育に活用

記者発表資料

下館河川事務所では、洪水時の水の流れの阻害やゴミの不法投棄の温床になるなど、河川管理上支障となっている河川敷に繁茂している樹木を、自然環境に配慮しながら計画的に伐採しています。

伐採した樹木については、処分費の削減と木材資源の有効活用等を図るため、鬼怒川・小貝川の沿川自治体と協働・連携し、伐採木を利活用する取組を実施しています。沿川自治体の利活用事例としては、学校への学習教材、防災用機材等があります。

また、当事務所では、堤防上の車止めや堤防への階段設置材料等として利活用しています。

今回、伐採木利活用の取組のさらなる拡大と推進を図るため、宇都宮市桑島町地先（鬼怒川左岸）にあずまやを試行的に製作し設置します。ここは、「きよはら水辺の楽校」の活動場所に面し、年間をとおして実施される種々の活動の拠点として利用することが出来ます。

また、設置にあたっては、「地球温暖化防止」と「地産地消運動」の一体化を推進している「とち木`の会」が指導者として協力し、真岡工業高校建築科及び建設科の生徒達が実習教育として参加します。

【日 時】 平成21年11月28日（土）・29（日）
両日とも9時～15時まで

【場 所】 宇都宮市桑島町地先（きよはら水辺の楽校）

【内 容】 伐採木を利活用してあずまやを作ります

平成21年 11月 25日
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会
茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ 筑西市記者クラブ
宇都宮市役所記者クラブ

問い合わせ先

〒308-0841 茨城県筑西市二木成1753番地
国土交通省関東地方整備局下館河川事務所
副 所 長 : 竹 内(タケウチ)
管理課長 : 橋 本(ハシモト)
電話 0296-25-2169 (管理課直通)

『パートナーシップwithリバー』プロジェクト ～地域との川を軸とした協働・連携事業～ 下館河川事務所

河川内の樹木が密集して生えていると、洪水の流下の障害となるなど、治水問題となったり、河川巡視の視認が困難となる、ゴミの不法投棄の温床となるなど、河川管理上の支障となっています。

河道内樹木による河川管理上の支障例



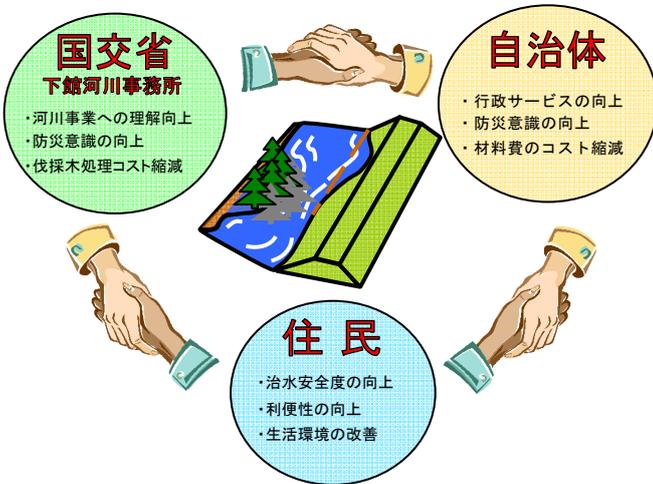
河川巡視に支障



ごみの不法投棄の温床

このため、自然環境に配慮しつつ、計画的に伐採を行っています。

国土交通省下館河川事務所では、『河川事業への理解向上』、『防災意識の向上』や『伐採した木について処分費の縮減』を図ると共に、伐採木を利活用した『地域の生活環境の改善』や『地域の活性化』を進めるため、『沿川自治体18市町と協働・連携』し、これら伐採木の利活用を行う取り組みを進めています。



『パートナーシップwithリバー』プロジェクト
～地域との川を軸とした協働・連携事業～
下館河川事務

伐採木利活用の事例

沿川自治体の利活用

国の利活用

沿川自治体の利活用				国の利活用
真岡市(旧二宮町)	下妻市	筑西市	取手市	下館河川事務所
市管理の公園内で丸太椅子に利用	地域イベントでヒラタケ植菌に利用	学校教育でヒラタケ栽培に利用		堤防法面に階段として利用
丸太椅子を職員自ら加工	地域イベントで水鉄砲の製作に利用	防災訓練の担架に利用	学校教育でシイタケ、ヒラタケの栽培に利用	堤防天端に車止めとして利用

開催場所案内図



◎集合場所 きよはら水辺の楽校(栃木県宇都宮市桑島町地先)



【ゼンリン電子地図帳にて作成】

**洪水時に障害になった伐採木や竹から
あずまやをみんなでつくります！**



洪水時に流れの障害になる樹木などを伐採します



伐採し、仮置き場へ運搬



柱材の皮むき作業

日時 平成21年11月28日(土)・29日(日)
午前9時から15時

場所 宇都宮市 きよはら水辺の楽校

募集 小中学生...作り方の見学、伐採木・竹から小物づくり
高校・大学生等...建築を勉強しながらの建物づくり

内容 伐採木からあずまやを作ります

主催 国土交通省下館河川事務所、とち木[®]の会

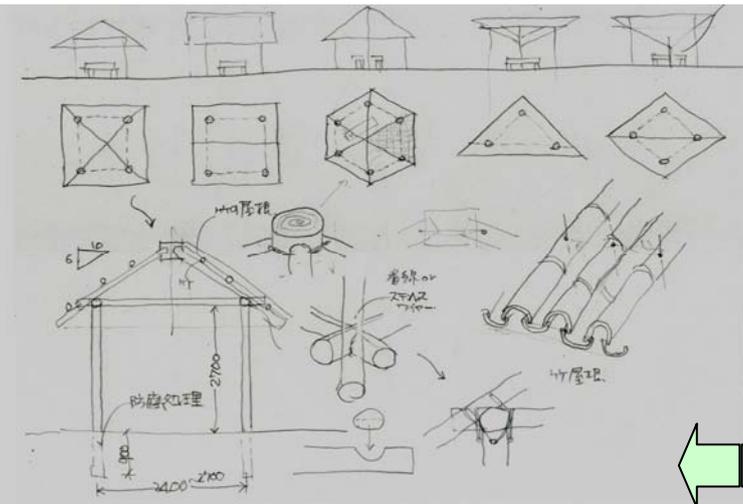
協力 きよはら水辺の楽校協議会
栃木県立真岡工業高校建築科・建設科

問合せ 国土交通省 石井出張所
電028-667-0570

参加費：無料
(ボランティア保険を
かけます)

鬼怒川を管理している下館河川事務所では、河川敷の支障となった伐採木の活用を流域の18市町と連携を図る検討会を立ち上げています。処分費を削減し、有効に利用しようとしています。

とち木[®]の会(小西敏正会長:宇都宮大学名誉教授)では、間伐材の有効利用や県内小学校などへの炭焼き体験などを通して地球温暖化に興味を持ってもらおうとしています。



設計図検討作成中！

建築の専門家「とち木[®]の会」が、あずまやの構造は伐採木を柱にし、間伐材を屋根下地にして二重野地板構造で通気層を確保します。屋根には竹も使います。



あずまや設置

いろいろなイベントを眺められる堤防上に設置します。

きよはら水辺の楽校は鬼怒川に面しています。



きよはら水辺の学校 利用状況

